

令和9年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

令和8年10月14日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
コード番号 7608 URL <https://www.sk-japan.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）八百 博徳
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）石井 正則 TEL 03-6701-8085
半期報告書提出予定日 令和8年10月14日 配当支払開始予定日 令和8年11月16日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 令和9年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（令和8年3月1日～令和8年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
9年2月期中間期	10,035	32.0	988	△1.9	1,037	2.7	723	2.0
8年2月期中間期	7,601	20.2	1,007	72.1	1,010	71.0	709	70.0

（注）包括利益 9年2月期中間期 756百万円（5.5％） 8年2月期中間期 716百万円（79.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
9年2月期中間期	43.08	—
8年2月期中間期	42.33	—

（注）当社は、令和8年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
9年2月期中間期	9,531	7,190	75.4	427.88
8年2月期	8,536	6,656	78.0	396.75

（参考）自己資本 9年2月期中間期 7,190百万円 8年2月期 6,656百万円

（注）当社は、令和8年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年2月期	—	18.00	—	29.00	47.00
9年2月期	—	12.00			
9年2月期（予想）			—	12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、令和8年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。令和8年2月期につきましては分割前、令和9年2月期（予想）につきましては、分割後の金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の令和9年2月期（予想）の年間配当金は1株当たり48円であります。

3. 令和9年2月期の連結業績予想（令和8年3月1日～令和9年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	20.1	1,950	4.8	1,960	4.1	1,370	2.7	81.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当社は、令和8年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。令和9年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	9年2月期中間期	17,009,106株	8年2月期	16,980,206株
② 期末自己株式数	9年2月期中間期	203,584株	8年2月期	203,084株
③ 期中平均株式数（中間期）	9年2月期中間期	16,787,198株	8年2月期中間期	16,755,685株

（注）当社は、令和8年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数(自己株式を含む)」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（中間期）」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績に関する説明	2
(2) 当中間期の財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(収益認識関係)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における経済情勢は、緩やかな回復が続く一方、中東情勢やアメリカの政策動向、為替変動、物価・エネルギー価格の高騰等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループでは連結売上高10,035百万円(前年同期比32.0%増)、営業利益988百万円(前年同期比1.9%減)、経常利益1,037百万円(前年同期比2.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益723百万円(前年同期比2.0%増)と、営業利益は前年同期実績を下回りましたが、売上高・その他の利益につきましては前年同期実績を上回る結果になりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業は、クレーンゲーム等のプライズゲーム市場が引き続き活況を維持しており、定番キャラクターおよび食品・お菓子等の商品販売は好調に推移し、利益率は為替変動や販売構成における食品・お菓子等の仕入れ商品の増加、荷造運搬費の増加等の影響により低下したものの、売上高8,164百万円(前年同期比37.2%増)、営業利益924百万円(前年同期比3.8%増)と前年同期実績を上回りました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業は、インバウンド需要等により取引先店舗が活況であったことから販売は好調に推移しておりますが、ホビー流通向け定番シリーズ商品の受注数が低調であったことに加え、為替変動や販売構成における仕入れ商品の増加等の影響により利益率が低下した結果、売上高1,870百万円(前年同期比13.3%増)、営業利益63百万円(前年同期比45.1%減)と売上高は前年同期実績を上回りましたが、営業利益は前年同期実績を下回りました。

(2) 当中間期の財政状態に関する説明

①財政状態

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて995百万円増加し、9,531百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少額269百万円、電子記録債権の減少額207百万円により一部相殺されたものの、受取手形、売掛金及び契約資産の増加額923百万円、商品の増加額391百万円、流動資産「その他」の増加額171百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて461百万円増加し、2,340百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少額82百万円により一部相殺されたものの、買掛金の増加額557百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて534百万円増加し、7,190百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額479百万円(親会社株主に帰属する中間純利益723百万円、剰余金の配当△243百万円)によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて1,329百万円減少し、2,854百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、14百万円(前年同期は251百万円の獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前中間純利益1,037百万円、仕入債務の増加額562百万円により一部相殺されたものの、売上債権の増加額710百万円、棚卸資産の増加額382百万円、法人税等の支払額384百万円があったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,104百万円(前年同期は53百万円の使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出42百万円、定期預金の預入による支出1,060百万円があったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、242百万円(前年同期は141百万円の使用)となりました。

これは主に、配当金の支払額242百万円があったこと等を反映したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、令和8年4月14日に公表いたしました令和9年2月期(通期)の連結業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(令和8年10月14日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和8年2月28日)	当中間連結会計期間 (令和8年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,183,339	3,914,303
受取手形、売掛金及び契約資産	2,055,169	2,979,021
電子記録債権	653,124	445,550
商品	763,083	1,154,541
その他	327,517	499,516
貸倒引当金	△185	△222
流動資産合計	7,982,049	8,992,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	118,219	118,169
減価償却累計額	△18,642	△24,217
建物及び構築物(純額)	99,576	93,951
車両運搬具	4,066	6,867
減価償却累計額	△2,658	△3,126
車両運搬具(純額)	1,407	3,741
その他	238,723	267,351
減価償却累計額	△167,919	△203,975
その他(純額)	70,803	63,376
有形固定資産合計	171,787	161,068
無形固定資産	66,695	59,665
投資その他の資産		
投資有価証券	165,011	188,491
退職給付に係る資産	17,677	10,701
繰延税金資産	56,753	43,073
その他	113,310	115,625
貸倒引当金	△37,065	△39,565
投資その他の資産合計	315,688	318,324
固定資産合計	554,171	539,059
資産合計	8,536,221	9,531,771

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和8年2月28日)	当中間連結会計期間 (令和8年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	845,810	1,403,359
未払法人税等	364,338	282,210
賞与引当金	55,200	70,775
その他	493,502	471,275
流動負債合計	1,758,851	2,227,620
固定負債		
資産除去債務	55,173	55,458
その他	65,890	57,906
固定負債合計	121,064	113,364
負債合計	1,879,915	2,340,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	472,863
資本剰余金	520,221	531,087
利益剰余金	5,592,022	6,071,918
自己株式	△46,319	△46,393
株主資本合計	6,527,921	7,029,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,402	105,223
繰延ヘッジ損益	434	—
為替換算調整勘定	37,547	56,087
その他の包括利益累計額合計	128,384	161,310
純資産合計	6,656,305	7,190,786
負債純資産合計	8,536,221	9,531,771

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和7年3月1日 至 令和7年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和8年3月1日 至 令和8年8月31日)
売上高	7,601,514	10,035,838
売上原価	5,373,710	7,491,343
売上総利益	2,227,804	2,544,494
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	320,018	363,098
賞与引当金繰入額	63,650	70,775
退職給付費用	17,563	19,169
荷造運搬費	266,765	490,853
貸倒引当金繰入額	1,101	37
その他	551,657	612,378
販売費及び一般管理費合計	1,220,757	1,556,312
営業利益	1,007,046	988,182
営業外収益		
受取利息	1,359	1,733
受取配当金	853	1,082
為替差益	—	40,303
助成金収入	3,405	—
その他	962	6,708
営業外収益合計	6,581	49,828
営業外費用		
為替差損	3,618	—
リース解約損	—	940
その他	0	39
営業外費用合計	3,619	979
経常利益	1,010,009	1,037,030
税金等調整前中間純利益	1,010,009	1,037,030
法人税、住民税及び事業税	312,220	306,525
法人税等調整額	△11,504	7,340
法人税等合計	300,715	313,866
中間純利益	709,293	723,164
親会社株主に帰属する中間純利益	709,293	723,164

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和7年3月1日 至 令和7年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和8年3月1日 至 令和8年8月31日)
中間純利益	709,293	723,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,360	14,820
繰延ヘッジ損益	3,301	△434
為替換算調整勘定	△11,115	18,540
その他の包括利益合計	7,546	32,925
中間包括利益	716,839	756,089
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	716,839	756,089
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和7年3月1日 至 令和7年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和8年3月1日 至 令和8年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,010,009	1,037,030
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,050	15,575
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,101	37
受取利息及び受取配当金	△2,213	△2,816
デリバティブ評価損益 (△は益)	—	△2,583
売上債権の増減額 (△は増加)	△501,636	△710,134
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△299,157	△382,017
仕入債務の増減額 (△は減少)	285,203	562,467
その他	△81,696	△150,167
小計	421,660	367,391
利息及び配当金の受取額	2,213	2,568
法人税等の支払額	△172,722	△384,667
営業活動によるキャッシュ・フロー	251,151	△14,707
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,060,000
有形固定資産の取得による支出	△42,123	△42,894
無形固定資産の取得による支出	△10,400	—
資産除去債務の履行による支出	△1,044	—
その他	△12	△1,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,580	△1,104,148
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△79	△73
配当金の支払額	△141,528	△242,770
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141,608	△242,844
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,536	32,664
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	39,426	△1,329,035
現金及び現金同等物の期首残高	3,778,329	4,183,339
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 3,817,756	※ 2,854,303

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法
によっております。

②中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のと
おりであります。

	前中間連結会計期間 (自 令和7年3月1日 至 令和7年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和8年3月1日 至 令和8年8月31日)
現金及び預金勘定	3,817,756千円	3,914,303千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	△1,060,000
現金及び現金同等物	3,817,756	2,854,303

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 令和7年3月1日 至 令和7年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,950,546	1,650,968	7,601,514	—	7,601,514
セグメント間の 内部売上高又は振替高	27	5	32	△32	—
計	5,950,573	1,650,973	7,601,547	△32	7,601,514
セグメント利益	890,603	116,443	1,007,046	—	1,007,046

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 令和8年3月1日 至 令和8年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,164,867	1,870,970	10,035,838	—	10,035,838
セグメント間の 内部売上高又は振替高	141	78	219	△219	—
計	8,165,009	1,871,049	10,036,058	△219	10,035,838
セグメント利益	924,276	63,905	988,182	—	988,182

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 令和7年3月1日 至 令和7年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		
	キャラクター エンタテインメント事業	キャラクター・ ファンシー事業	計
アミューズメント施設等への販売	5,621,179	—	5,621,179
カプセルトイ事業者への販売	328,514	—	328,514
ファンシーグッズの専門店・ 量販店等への販売	—	1,556,607	1,556,607
e コマース販売	—	94,360	94,360
ロイヤリティ収入	852	—	852
顧客との契約から生じる収益	5,950,546	1,650,968	7,601,514
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,950,546	1,650,968	7,601,514

当中間連結会計期間(自 令和8年3月1日 至 令和8年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		
	キャラクター エンタテインメント事業	キャラクター・ ファンシー事業	計
アミューズメント施設等への販売	7,744,220	—	7,744,220
カプセルトイ事業者への販売	416,004	—	416,004
ファンシーグッズの専門店・ 量販店等への販売	—	1,792,618	1,792,618
e コマース販売	—	78,352	78,352
ロイヤリティ収入	4,642	—	4,642
顧客との契約から生じる収益	8,164,867	1,870,970	10,035,838
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	8,164,867	1,870,970	10,035,838